

NEWS RELEASE



2005年2月1日
株式会社 ぐるなび

観光立国「ビジット・ジャパン・キャンペーン」活動を継続します
外国人旅行者のためのレストランガイドブックを制作
「ぐるなび」は“YOKOSO! JAPAN WEEKS”に参加します
～ 2005年2月5日(土)より提供開始 ～

グルメ情報検索サイト「ぐるなび」を運営する株式会社ぐるなび(以下、ぐるなび、所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:久保証一郎)は、国土交通省が2005年2月5日(土)～2月20日(日)に行う、ビジット・ジャパン・キャンペーンの集中キャンペーン企画、“YOKOSO! JAPAN WEEKS”事業に参加し、取り組みとして、外国人旅行者のためのレストランガイドブックを制作します。

ぐるなびは、かねてからビジット・ジャパン・キャンペーンに賛同し、活動を続けてまいりました(※1)。引き続き外国人旅行者受入のための取り組みを強化するため、これまで培ったレストラン検索サイトとしての情報力を活かし、外国人旅行者のためのレストランガイドブックを制作することになりました。最も多くの外国人旅行者が来訪するとされる「首都圏(東京、横浜市、千葉)」を始め、「中京(名古屋・岐阜)」「京都・大阪・神戸」「福岡」の厳選されたレストラン132店舗をガイドブックにまとめ、各レストランの紹介ページには、営業時間やアクセス等の基本情報に加え、来訪者に日本の食文化を満喫してもらうために、お勧めのメニューやお得なクーポンを付けています。

(※1) 観光立国構想「ビジット・ジャパン・キャンペーン」の活動の一環として、訪日外国人旅行者を対象に飲食店情報サイト『ぐるなび』を2004年9月28日(火)より、5言語表記対応で展開しています。これは、既存の日本語と英語に加え、訪日外国人旅行者数が最も多い韓国、中国語圏の旅行者に向け新たに対応するもので、韓国語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)を加えて展開しています。

【外国人旅行者のためのぐるなびレストランガイドブックの詳細】

【配布期間】 2005年2月5日～同年2月20日

【レストランが掲載されるエリア】「首都圏(東京、横浜市、千葉)」 「中京(名古屋・岐阜)」 「京都・大阪・神戸」 「福岡」

【掲載店舗数】 全132店舗 <首都圏(東京・横浜・千葉)/70店舗、中京(名古屋・岐阜)/25店舗、
京都・大阪・神戸/32店舗、福岡/5店舗>

【対応言語】 英語版、韓国語版、中国語(簡体字)版、中国語(繁体字)版 ※ガイドブックは各言語ごとに出版します。

【発行部数】 合計5万冊

英語版2万部、韓国語版1万5000部、中国語(繁体字)版1万部、中国語(簡体字)版5千部

【配布場所】 空港・ホテル・観光案内所等

【内容】

連絡先、営業時間、アクセス方法を始め、外国人に人気のあるお勧めメニューを掲載。お得なクーポンも付いているので、クーポンを利用して美味しいものを食べるというお得感も体験できます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ぐるなび 広報担当: 田中

TEL: 03-3215-8818(代表) e-mail: pr@gnavi.co.jp

ぐるなびレストランガイドブック表紙



表4

表1